

平成26年度 障害者雇用促進セミナー(第5回)

NPO法人自閉症ピアリングセンターここねっと
仙台市自閉症相談センター

2014/12/16(火) 平成26年度障害者雇用促進セミナー(第5回) 1

自閉症相談センター：事業概要①

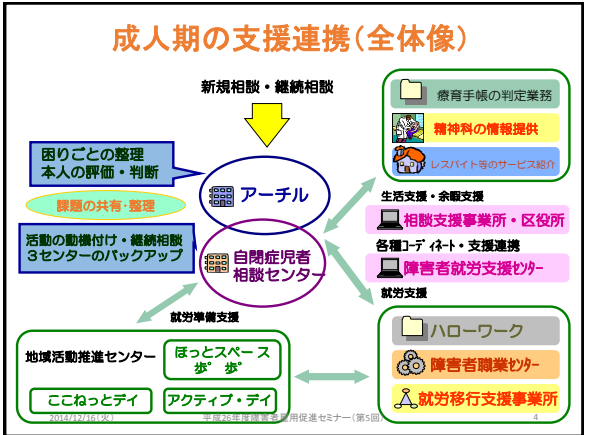
- ・アーチルとの連携相談を基本としながら、主に知的遅れの無い発達障害のある方を支える身近な拠点として平成17年度より開設
- ・アーチルとの役割分担を前提に、相談支援・サロン・人材養成の3つの事業を実施
- ・平成26年度より6名体制(うち1名は計画相談)となり、アーチル委託の相談支援に加え、指定相談事業所として計画相談にも対応

2014/12/16(火) 平成26年度障害者雇用促進セミナー(第5回) 2

自閉症相談センター：事業概要②

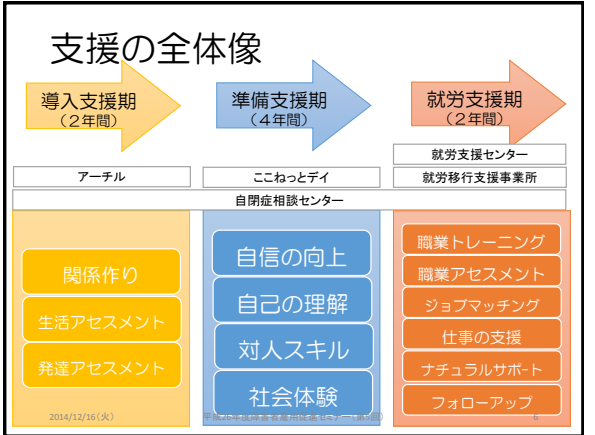
- ・対象：発達障害のある本人、家族、支援者
※アーチルによる評価を前提
- ・対応日時：月曜日と祝日の翌日を除く
10:00~18:30
- ・支援内容：相談支援(来所、訪問、電話 他)
サロン(家族教室・サロン)
人材養成(各種研修等)
施設等支援(地活、就労系、幼稚園他)

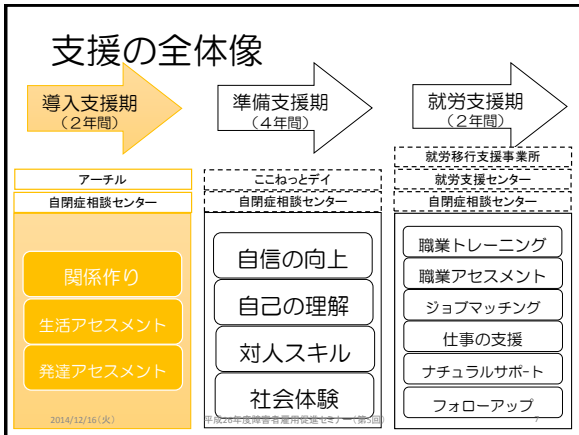
2014/12/16(火) 平成26年度障害者雇用促進セミナー(第5回) 3



事例の概要

2014/12/16(火) 平成26年度障害者雇用促進セミナー(第5回) 5

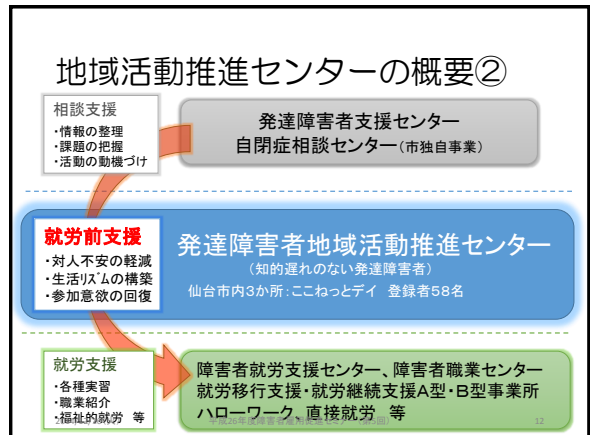
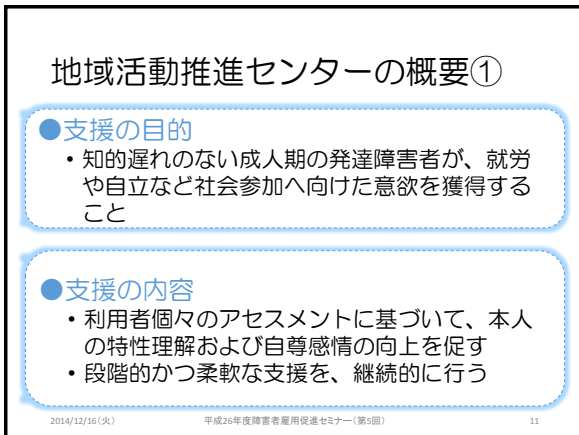
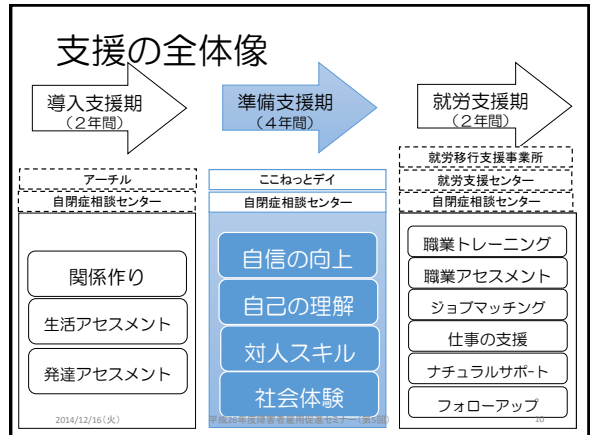
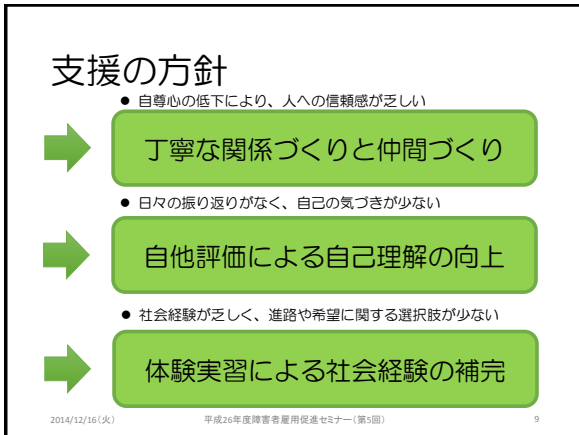


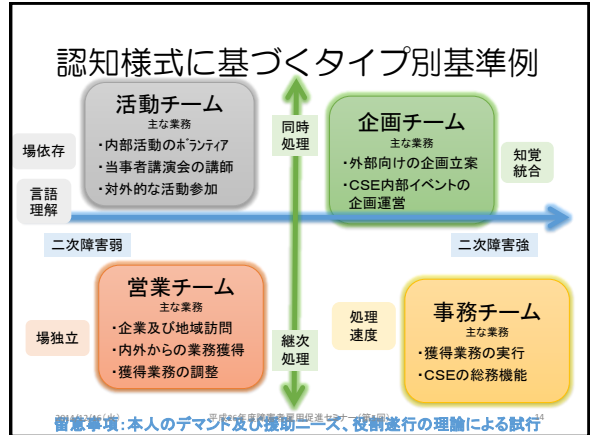
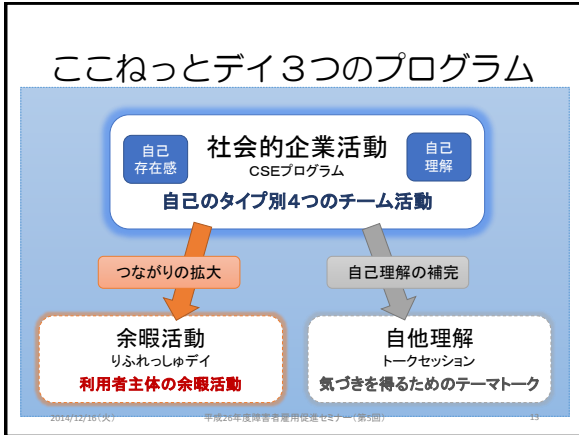


特性のアセスメント

項目	エピソード
中枢性統合の弱さ	
独特の注意の向け方	
心の理論の弱さ	
実行機能の弱さ	

2014/12/16 (火) 平成26年度障害者雇用促進セミナー(第5回)





チーム活動1クールの流れ

期間	プログラム	内容
3か月	アセスメント	相談機関からの事前情報を基に試験通所しながら自身の大まかな状態像を把握する。
1週間	プランニング	支援計画を策定し自己のニーズ及び適性に応じたチーム、取り組むテーマを決定
3か月	チーム活動	「自己理解」と「自己存在感の獲得」を意識しながらチーム活動における様々な場面を通して、新たな気づきを得る。
1週間	振り返り	自己の適性とテーマの深度を振り返り、次節のチーム決め及び方向性を決定する。

2014/12/16(火) 平成26年度障害者雇用促進セミナー(第5回) 15

振り返りシートより(利用当初)

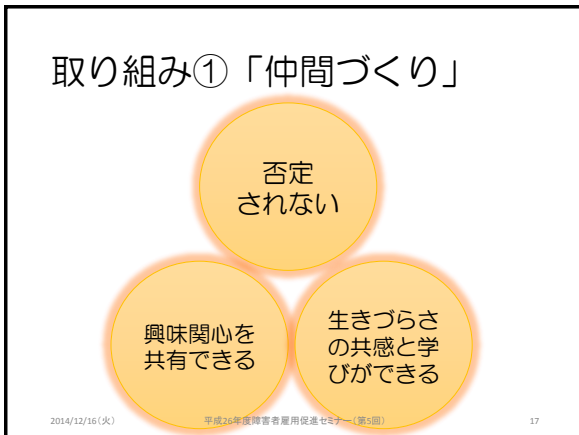
◆今、気になっている項目に☑を入れてください。

- 気持ちのコントロール
- 人に伝えること
- 家族との関係

◆将来なりたい自分に関する項目に☑を入れてください。

- 人に慣れたい
- 仲間がほしい
- 生活のリズムを整えたい
- 自分の適性を知りたい
- 就労を目指したい
- ソーシャルスキルを身につけたい

2014/12/16(火) 平成26年度障害者雇用促進セミナー(第5回) 16



取り組み②「感情の言語化」

■方法
・振り返りシートの活用

■手順
・感情・思考の選択肢を提示
↓
・状態に近い感情・思考を選択
↓
・選択した内容について深める
↓
・自己理解が深まる

例)

今、気になっていることを以下から選択してください。
☐金銭管理 ☐対人関係 ☐就職活動

↓

今、気になっていることを以下から選択してください。
☐金銭管理 ■対人関係 ☐就職活動

「対人関係」について、気になることを以下から選択してください。
■話すこと ☐聞くこと

↓

「話すこと」で気になることは何ですか?
→歌語の使い方です。

2014/12/16(火) 平成26年度障害者雇用促進セミナー(第5回) 18

感情・思考の整理→手帳の取得へ

	障害者手帳に関する認識
これまでのイメージ	<ul style="list-style-type: none"> ■ 何のために使うのかよくわからない ■ 自分がその対象なのか ■ 自分は何に助けが必要なのか
取得後のイメージ	<ul style="list-style-type: none"> ■ 就労時に本人・企業双方にメリット ■ 一部のサポートを必要とする人にも有効 ■ 感情を伝えることに助けがほしい

2014/12/16(火) 平成26年度障害者雇用促進セミナー(第5回) 19

取り組み③「社会体験の補完」

①ボランティア講座への参加
 ・受講後：「自分にもできるのですか？」
 ↓
支援を受ける側から、提供する側への関心

②法人内ボランティアに挑戦
 ・活動後：「Aさんにどう関わるとよいですか？」
 ↓
人の役に立つことの実践

➡ **社会参加の自信回復／勤労観の育成**

2014/12/16(火) 平成26年度障害者雇用促進セミナー(第5回) 20

振り返りシートより(利用終了時)

- ◆今、気になっている項目に☑を入れてください。
 ☑人の話を聞くこと → 新たな項目への気づき、指示内容の誤解等
 ☑人に伝えること → 自由記述欄「たわいもない会話が少なくなった」
- ◆将来なりたい自分に関する項目に☑を入れてください。
 ☑人に慣れたい
 ☑生活のリズムを整えたい
 ☑自分の適性を知りたい
 ☑余暇活動を充実させたい → 仕事とのバランスと余裕
- ◆今後やりたいことを記入してください。
 ・「長い間お世話になりました。かつてと比べると成長できたかと思っております。ありがとうございました。」

2014/12/16(火) 平成26年度障害者雇用促進セミナー(第5回) 21

支援の全体像

2014/12/16(火) 平成26年度障害者雇用促進セミナー(第5回) 22

役割分担

2014/12/16(火) 平成26年度障害者雇用促進セミナー(第5回) 23

よりよいマッチングのために

<ジョブマッチング>

2014/12/16(火) 平成26年度障害者雇用促進セミナー(第5回) 24

本人のアセスメント

●どんな場面でみるか？

- ①書面・面接での聞き取り
- ②テスト等による職業評価
- ③作業場面での行動観察
- ④職場実習での行動観察 etc

●何をみるか？

基本情報	氏名、住所、連絡先、 診断名、家族関係…
心と身体	通院、服薬、生活リズム、…
日常生活	身だしなみ、金銭管理、 経済状況、交友関係…
職業生活	障害受容、就労意欲、 コミュニケーション…
作業スキル	作業理解・スピード・精 度、集中度…

2014/12/16 (火) 平成26年度障害者雇用促進セミナー(第5回) 25

職場のアセスメント

会社の基本情報
障害者雇用の情報

- 理念
- 事業内容 など
- 雇用条件
- 雇用経験と意向 など

○道具の配置やスペース

○環境

○担当者の教えやすさ など

○やりやすさ

○仕上がりレベル

○必要なスキル

○身体的側面

○配慮すべき点 など

○組織

○人争異動・シフト

○職場の雰囲気

○障害者への接し方 など

2014/12/16 (火) 平成26年度障害者雇用促進セミナー(第5回) 26

実際の取り組み

2014/12/16 (火) 平成26年度障害者雇用促進セミナー(第5回) 27

準備期：作業場面でのアセスメント (参考)

2014/12/16 (火) 平成26年度障害者雇用促進セミナー(第5回) 28

マッチング期：職場のアセスメント (参考)

項目	アセスメント
会社	理念 ●「人や社会のお役に立ててこそ企業である」
	雇用経験 ●他県で発達障害者の雇用経験：有
仕事	やりやすさ ●標準工程・マニュアル、端末指示：有
	仕上がりレベル ▲正確さ・スピード：要、●チェック機能：有
	必要なスキル ▲器用さ：要、●特定者とのコミュニケーション：有
	身体的側面 ▲体力：要
物的環境	道具の配置やスペース ●物の配置：固定、フロアによる商品大・小
	環境 ●音：小
人的環境	担当者の教えやすさ ●フロアリーダー以外のパート：有
	人事異動・シフト ▲管理者異動：有、●休み固定
	職場の雰囲気 ●受容的、フロアによる男女比異
障害者への接し方 ●口頭指示：少、●フラットな接し方	

●：安心(火) ▲：不安 平成26年度障害者雇用促進セミナー(第5回) 29

マッチング期：障害特性の説明

■A：意思疎通が取りにくい状況

- ①時間が空いた状況に関する思考、感情の表出を求める。
・例)「昨日の企業見学は勉強になった？」
- ②大雑把に思考、感情の表出を求める。
・例)「やってみてどう思った？」
- ③集団場面で思考、感情の表出を求める。

■B：意思疎通が取りやすい状況

- ①出来事の直後に思考、感情の表出を求める。
- ②具体的に選択肢を提示して思考、感情の表出を求める。
・例)「今日の仕事で、集中力が切れたのは何時ごろかな？」
- ③1対1の面接場面で本人のペースで思考、感情の表出を求める。

専門用語を使用せず、具体例を提示する！

2014/12/16 (火) 平成26年度障害者雇用促進セミナー(第5回) 30

マッチング期：雇用前実習のデメリット①

	A	B
課題	発信する力をつける	集中力、体力の持続
背景（障害特性）	想像力の困難	注意力の散漫
対策	必須で発信すべき事項をルール化	まとまった休憩よりもこまめな休憩時間の確保
具体例	「挨拶をしましょう」ではなく、「回数間違いの際は、申し訳ございませんでした」と伝える。	12:30-13:30の60分の休憩時間を30分（昼食）+15分（小休憩）×2に分割する。また、体力向上に向け、勤務時間数を徐々に増加させる。

2014/12/16(火)

平成26年度障害者雇用促進セミナー(第5回)

31

マッチング期：雇用前実習のデメリット②

	C	D
課題	カッター、商品等の丁寧な扱い	正確な商品個数の格納
背景（障害特性）	手先の不器用さ	同一物の認識・細部着目の困難
対策	片手間でカッターや商品を扱わない。正しい扱い方を覚える。	束のまま数量を勘定しない。
具体例	カッターは商品に向けて扱わない。カッターの刃の出す長さを固定。格納時はハンディーをカート上に置いてから行う。商品は重いもの、大きいものを下に軽いもの小さいものは上に。	輪ゴムやビニールでまとまっている商品は一度カート上にはばらして11つずつ数える。

2014/12/16(火)

平成26年度障害者雇用促進セミナー(第5回)

32

職場定着期：人間関係の振り返り

【飲み会時のマナー】
・お酒をつぐ=感謝・挨拶
・次の出勤時にお礼

【上司への言葉遣い】
・友達ではない
・「～すか？」×→
「～でしょうか？」○

【昼休みの過ごし方】
・必ずしもみんなで食べる必要なし。
・昼休→関係促進の場

2014/12/16(火)

平成26年度障害者雇用促進セミナー(第5回)

33

発達障害のある方の
就労支援のポイント

- “振り返り”のサポート
→振り返る枠組みを提示、認知を修正する。
- “社会体験”の補完
→持ち越した課題を再体験で補う。
- “適職探し”=本人・企業双方の分析
→双方のギャップを埋め合わせる。

2014/12/16(火)

平成26年度障害者雇用促進セミナー(第5回)

34